



## 第33回 市教組定期大会、開催される！NO.5



今大会で「論議されたもの」のつづきです。

### 古本代議員の質問

昨年度にすべての小学校でのフッ化物洗口が導入されてしまったが、フッ化物洗口に対する今年度の取組を教えてください。それから、「学校における歯と口の健康づくり推進計画」の中では、中学校でのフッ化物洗口の導入も書かれているが、中学校の先生方は知っているのだろうか？

### 鶴田養護部長の答弁

フッ化物洗口に関する資料を作成して全養護教諭に郵送する予定だ。内容としては、フッ素は、飲み込まなくても、口腔粘膜から吸収され、体内にたまっていく。そのため、体調不良やアレルギーなどは時間がたって、半年、1年後とかに起こることもある。知らないために見逃して、悪化したりしないように子どもたちに関わる人に、伝えられたらと思う。

それから、学校保健課との直接の話し合いも予定している。今後の直接的な闘い方としては、各学校で洗口の実数や希望者を減らすことである。希望調査は初めの一回だけになっているが、保護者がフッ化物洗口を止めたいと伝えやすい状況をつくるようにすることが大切。「止めたいときは、連絡帳にでも書いてもらいたいよ」と常に伝えている分会では、止める子が増えたと聞いている。また、フッ化物洗口をしない時期、例えば、「4月や学期当初、暑い時期、プールの時期、体育大会の練習期間など」や、「熱中症などで安全性が確保できないのでしない」など、それぞれの学校で提案してほしい。

中学校の先生方が知っているかという質問だが、養護教員は小学校の養護教員が話をしているのを聴いたりして、ある程度知っているが、他の先生方は、ほとんど知らないと思う。初めに言ったように、全養護教員に資料を送る予定である。養護教員を通して他の教員にも伝わっていけばと思う。



### 近藤代議員による総括討論

この機会をいただき、あらためて自分の組合人生をふり返りたい。

職場を改善するために幾度となく交渉を続ける組合員の先輩の姿が今も目や心に焼き付いている。施設から通ってきている子どもとの関わりの中で落ち込んでいる私に、

「あなたの愛は一時的なものだったかもしれないけど、彼は一生の愛として彼の心に残るはずよ」と励ましてくれたのは組合の先生だった。この言葉が、私の組合加入のきっかけだった。まさに「組愛力」が私の背中をおしてくれた。

加入してからはどうしてここまで「日の丸・君が代」にこだわるのか…、とても興味を持った。高校生の時、音楽教諭が君が代をジャズ風にアレンジして演奏し、処分を受けるということがあった。その先生の行動の何が悪いのか分からず、私たちはその先生を守るために教室にこもるという行動を起こしたが、親から連れ帰られた。この先生はどうしてこのような行動を起こしたのか、それが私の平和教育のスタートだった。

8・6平和のつどいに青年部で参加し、反戦・平和について勉強させてもらうと同時に組合の仲間との絆も深まっていった……。 (つづく)



NO.16へつづきます

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

